

【 政 治 】

● 内政

- 1 財務大臣、債務借入に関するフローの見直しを表明
- 2 財務省、政府支出の約25%が債務の返済に充てられていることを表明
- 3 大統領、首都空港の建設費用の無駄を指摘し、改善を要求
- 4 大統領、実態と乖離する現行税制を批判
- 5 元難民の現ソマリア大臣、ザンビアの難民政策を賞賛
- 6 国際NGO、現政権の更なる汚職対策を要望
- 7 ザンビア労働組合会議（ZCTU）、源泉徴収課税対象額の引き上げを要望

● 外交・対外関係

- 1 大統領、ニジェールのクーデターを非難
- 2 大統領、イスラエルを訪問
- 3 大統領、英国外相と会談
- 4 大統領、西村経済産業大臣と会談
- 5 大統領、韓国外交部長官と会談
- 6 大統領、ウクライナ大統領と電話会談
- 7 大統領、中国農業・農村部長と会談
- 8 EU、農業支援に5,000万ユーロの拠出を表明
- 9 大統領、SADC サミットへ参加
- 10 大統領、BRICs サミットへ参加
- 11 大統領、中国・アフリカ首脳円卓対話へ参加
- 12 スコットランド、気候変動対策として800万ポンドの支援を表明

【 経 済 】

- 1 燃料価格、微増
- 2 アフリカ最大規模のニッケル鉱山、操業開始
- 3 イスラエル・ザンビアビジネスフォーラム、8億ドルの投資を発表
- 4 鉱山関連法案を閣議決定
- 5 新法、ザンビア中央銀行の自立性を強化
- 6 ザンビア中央銀行、政策金利を引き上げ
- 7 ザンビア中央銀行、急激な為替変動対策として約3億ドルを投入
- 8 ザンビアへの対外投資、ヒチレマ政権発足以降、劇的に増加
- 9 ザンビア環境管理局（ZEMA）、ザンベジ川下流域鉱山開発決定書を取り消す
- 9 中国からの投資熱、高まる

政治

● 内政

1 財務大臣、債務借入に関するフローの見直しを表明

8月5日、ムソコトワネ財務・国家開発大臣は、ザンビア大学における債務再編に関する講演の中で、今後ザンビア政府が債務借入を実施する際には、財務省のみがその決定権限を持ち、国民議会での審議を必要とするプロセスを追加すること、及び GDP 比で債務総額に上限を設けることを内容とする法改正を実施する意向を示した。(8月6日付 Daily Nation)

2 財務省、政府支出の約25%が債務の返済に充てられていることを発表

財務・国家開発省は、7月の政府支出が118億クワチャになったことを発表した。内訳としては、国内向け債務・国外債務の返済用途として29億クワチャが支出されたことに触れた。これは政府支出の約25%に相当する。(8月7日付 News Diggers)

3 大統領、首都空港の建設費用の無駄を指摘し、改善を要求

ヒチレマ大統領は、(当館注：中国輸出入銀行の融資により)約3億6千万ドルの費用を費やしてリニューアルを実施した首都ルサカ国際空港について、大統領が想定する必要費用である1億5千万ドルを大幅に上回った金額が費やされており、こういった汚職・無駄が常態化し、社会としての職業倫理を失ってしまったことが債務拡大の主たる要因であり、改善の必要があると述べた。(8月10日付 News Diggers)

4 大統領、実態と乖離する現行税制を批判

ヒチレマ大統領は、ザンビア公認会計士協会の会合の中で、現行の税制が実態と乖離しており、場合によっては投資を阻害していると批判した。一部の税金の設定は額面が高すぎることにより一

般国民が納税を行っておらず、税率を下げた国民生活の実態にそぐう税制度に法制度を改めることで、政府の財源を増収できると主張した。(8月11日付 Daily Mail)

5 元難民の現ソマリア州大臣、ザンビアの難民政策を賞賛

ソマリアのジュバランド州のアフメッド大臣が、第五回アフリカ青年 SDGs サミットに参加するためにルサカを訪れた。アフメッド大臣は2010年から2016年まで北西部メヘバの難民キャンプに難民として逗留しており、当時のザンビア政府の対応及び進展している難民政策を賞賛するとともに、引き続きの政策遂行を求めた。(8月18日付 Times of Zambia)

6 国際 NGO、現政権の更なる汚職対策を要望

国際 NGO であるトランスペアレンシー・ザンビアは、ヒチレマ政権の汚職対策・ガバナンスに関する取組について、向上の余地があると評した。情報公開法の制定が進んでいないことや、政治家の資産開示などの法制化がされていないことが主要因とし、更なる改善を求めた。(8月18日付 News Diggers)

7 ザンビア労働組合会議 (ZCTU)、源泉徴収課税対象額の引き上げを要望

ザンビア労働組合会議 (ZCTU) は、2024年度国家予算を検討するにあたり、所得税の源泉徴収課税最低基準額を4,800クワチャから7,000クワチャへ引き上げるよう政府へ要望した。債務再編に成功した中で、労働者の手取り収入を増やすことにより可処分所得を増やすことが狙い。同時に、社会的弱者のセーフティネットとして、社会保障プログラムの拡充を要望した。(8月18日付 News Diggers)

● 外交・対外関係

1 大統領、ニジェールのクーデターを非難

7月31日、イスラエルを訪問中のヒチレマ大統領は、ニジェールで発生したクーデターを非難する声明を発表した。憲法秩序に反する行動を強く非難し、直ちにクーデター行動を停止するようニジェール国軍に求めた。(8月1日付 Daily Mail)

2 大統領、イスラエル訪問

7月31日から8月2日にかけて、ヒチレマ大統領はイスラエルを訪問し、ヘルツォグ大統領及びネタニヤフ首相と会談した。会談の中では、農業、健康、デジタルプラットフォームに関するの二国間連携の強化が話し合われるとともに、滞在中に実施された投資フォーラムの場において、ザンビアの政治的安定性・良好な治安情勢を訴え、イスラエル企業の積極的な投資を呼び掛けた。(8月3日付 Daily Mail)

3 大統領、英国外相と会談

8月4日、ヒチレマ大統領は、ザンビア訪問中の英国クレバリー外相と会談した。会談では英国のザンビアに対する継続的な支援に関する感謝が述べられると共に、債務再編における英国の支援に感謝が述べられた。会談終了後、クレバリー外相とカクボ外相・カブスウェ鉱山相との間で、2つのMOUが締結された。内容としては、グリーンエネルギー貯蔵を含む重要鉱物の責任ある探査、開発及び加工に関する協定並びに25億ポンドの再生可能エネルギー、鉱業、中小企業への民間セクター支援に関するものとなる。(8月4日付 Daily Mail, Times of Zambia)

4 大統領、西村経産相と会談

8月11日、ヒチレマ大統領は、ザンビア訪問中の西村経産相と会談した。会談では特に鉱物に関する連携について言及されるとともに、G7議長国である日本の債務再編における支援に感謝が

述べられた。会談終了後、西村経産相とカブスウェ鉱山相立ち会いのもと、JOGMECと鉱山・鉱物開発省との間でリモートセンシング技術を利用した鉱物探査に関するMOUが締結された。(8月12日付 Daily Mail, Times of Zambia, Daily Nation)

5 大統領、韓国外交部長官と会談

8月11日、ヒチレマ大統領は、ザンビア訪問中の韓国パク外交部長官と会談した。会談では韓国から釜山万博の支援要請、韓国アフリカサミットに関してザンビア政府の支持が要請されるとともに、ザンビア側からは両国間の連携強化が触れられた。また、前日実施した外相会談の中で、韓国がザンビアでの大使館業務の再開を企図していることが表された。(8月12日付 Daily Mail)

6 大統領、ウクライナ大統領と電話会談

8月11日、ヒチレマ大統領は、ウクライナ・ゼレンスキー大統領と電話会談を実施した。ウクライナが9月に開催を意図している世界平和サミットについて、ヒチレマ大統領に外交平和アドバイザーとしての役割を託す旨が表されると共に、黒海穀物イニシアティブの延長の必要性を確認し、食糧供給を武器として利用することは許されないという点で合意した。(8月14日付 Times of Zambia)

7 大統領、中国農業・農村部長と会談

8月14日、ヒチレマ大統領は、ザンビア訪問中の唐・中国農業・農村部長と会談した。会談では農業分野での両国間連携の深化が話されるとともに、ヒチレマ大統領の中国公式訪問時には、農業分野における二国間合意の具体化を図りたいとの意向が示された。(8月15日付 Daily Mail, Times of Zambia)

8 EU、農業支援に5,000万ユーロの拠出を

表明

小規模農家開発局 (SAFADA) は EU がザンビア国内の農業従事者の教育などの用途として5, 000万ユーロの資金を拠出すると発表した。国内の農業ビジネスの効果的な発展のために使用されるとしている。(8月15日付 Times of Zambia)

9 大統領、SADC サミットへ参加

8月17日、ヒチレマ大統領は、アンゴラで開催された SADC サミットへ参加した。今期 SADC の政治・防衛・安全保障協力オーガンの議長に就任した大統領は、スピーチの中で、地域内の安定が経済発展における重要要因であり、加盟国のリーダーは平和維持に努めるべきと発言し、議長として SADC 全体、特にモザンビーク北部・コンゴ民主共和国東部地域安定化のために各国と連携した支援を継続すると強調した。(8月18日付 Daily Mail, Times of Zambia)

10 大統領、BRICs サミットへ参加

8月24日、ヒチレマ大統領は、南アフリカで開催された BRICs サミットへ参加した。大統領はスピーチの中で、資本や開発に関する不公平に関して世界全体で見直しを図るべきと発言した。同時に、BRICs 諸国がアフリカやその他の国々と関係を強化する折に、相互に利益が出るように、投資対象国の国内経済成長にも留意すべきと述べた。(8月25日付 Daily Mail, Times of Zambia)

11 大統領、中国・アフリカ首脳円卓対話へ参加

8月24日、ヒチレマ大統領は、南アフリカで開催された中国・アフリカ首脳円卓対話へ13か国の首脳と共に参加した。大統領は Facebook で表明した所感の中で、中国に対しインフラ整備、工業化、生産業、特に農業の近代化、人的資源の能力開発の分野における大陸開発アジェンダへの支援

を強化するよう要望したと述べた。(8月26日付 Daily Mail, Times of Zambia)

12 スコットランド、気候変動対策として800万ポンドの支援を表明

8月25日、ユーサフ・スコットランド首相は、ザンビア・マラウイ・ルワンダ3か国に対して、気候変動対策用途としてそれぞれ800万ポンドの支援を表明した。資金は、気候変動に対する減災・防災対策のために使用される予定。(8月26日付 Daily Mail, Times of Zambia)

経済

1 燃料価格、微増

エネルギー規制局 (Energy Regulation Board) は、クワチャ安と世界的な燃料価格高騰の影響を受け、8月1日から1リットル当たりのガソリン価格を24.93クワチャから25.57クワチャに、またディーゼル価格を21.87クワチャから23.36クワチャに引き上げると発表した。(8月1日付 Times of Zambia)

2 アフリカ最大規模のニッケル鉱山、操業開始

8月4日、カナダの FQM 社子会社は、北西部州においてアフリカ最大のニッケル生産量が期待される鉱山の操業を開始した。同鉱山は、年間400万トンの原鉱採掘及び3万2千トンのニッケルの生産能力を有し、700名の正規雇用を創出することが期待されている。(8月5日付 Daily Mail)

3 イスラエル・ザンビアビジネスフォーラム、8億ドルの投資を発表

ヒチレマ大統領のイスラエル訪問時に、イスラエル・ザンビアビジネスフォーラムが開催された。100社を超える農業、エネルギー、金融サービス、テクノロジー分野のイスラエル企業が参加し、総額8億ドルの投資が発表された。その内1億ド

ルの太陽光・風力発電設備投資では、イスラエルのGigawatt Global社とGigawatt Wind社が、ザンビア国内で太陽光と風力の混合発電所(71MW)を建設し、ザンビア政府は25年間の電力購買契約を結ぶ予定。(8月8日付・10日付 Daily Mail)

4 鉱山関連法案を閣議決定

閣議において、鉱物規制委員会を設立するため、2015年の鉱山鉱物開発法を廃止する法案を国会に提出することが大筋で承認された。鉱山鉱物開発法案2023の提出により、地質図作成と鉱物資源探査及び政府による鉱業セクターへの投資を導く法的枠組みが整う。(8月20日付 Daily Mail)

5 新法、ザンビア中央銀行の自立性を強化

ザンビア銀行が、物価と金融の安定を達成し維持するための金融監督政策を策定し実施するという役割を果たすにあたり、その自立性を強化することを目的としたザンビア銀行法令を制定した。(8月22日付 Daily Mail)

6 ザンビア中央銀行、政策金利を引き上げる

ザンビア中央銀行は、政策金利を9.5%から10%に引き上げた。インフレ率は第1四半期の9.6%から第2四半期にかけて9.9%に上昇しており、政策金利引上げは将来的なインフレ率上昇の抑制(目標:6~8%)を目的としている。(8月24日付 Times of Zambia)

7 ザンビア中央銀行、為替変動対策として約3億ドルを投入

ザンビア中央銀行は為替レートの変動緩和のため、2023年第2四半期に3億ドルを市場に投入した。対米ドルの為替レートは、6月末~8月下旬の間に11%下落し19.48クワチャ/ドルとなっている。また、外貨準備高は、2023年3月末の29億ドル(輸入3.3か月分相当)から

同年6月末には27億ドル(輸入2.9か月分相当)に減少している。(8月24日付 News Diggers)

8 ザンビアへの対外投資、ヒチレマ政権発足以降、劇的に増加

ザンビアへの投資は、ヒチレマ政権発足前の2021年33.1億ドル、2022年86.1億ドル、2023年(8月まで)250億ドルと著しく増大している。最大の投資先はエネルギー部門であり、その投資額は2021年の20億ドルから2023年には161億ドルへと増加。また製造業も2021年の9億5,800万ドルから2023年には77億ドルへと増加している。(8月25日付 Daily Mail)

9 ザンビア環境管理局(ZEMA)、ザンベジ川下流域鉱山開発決定書を取り消し

24日、ZEMAはザンベジ川下流域で計画されている中国系ムウェンベシ資源会社(Mwembeshi Resources Ltd)の大規模な採掘活動に関する決定書を、同社が国立公園野生生物局の書面による承認なしに同公園内に恒久的建造物を設置するなど、いくつかの条件を遵守しなかったとして取り消した。(8月26日付 News Diggers)

10 中国からの投資熱、高まる

在ザンビアの中国商工会議所は、鉱業分野(特にリチウム)及び農業分野に関して、中国企業の関心が非常に高まっていることとした。農業分野ではザンビアに3つの蚕工場が設立されている他、30日にはAfrican Factory(中国企業)が、ザンビアに注射器製造工場を設立することを発表した。ただしリチウムに関しては法規制によりエネルギー鉱物の探査が禁止されているため採掘ができず、中国の投資家は投資を望んでいると述べた。(8月7日付 Daily Mail・8月31日付 Daily Nation)

(了)